

今年も若一王子神社の大祭が行われる季節となりましたね。自分の娘も今年は参加しようと着々と準備を進めております。。保育園の年長さんですので、夏のいい思い出となればいいんですけどね(たんなる親バカ?)。松尾新聞店では暑い中歩くお子さんやお父さお母さんの為に<うちわ>の無料配布を行います!詳しくは裏面を!!

発行元:大町デリバリーサービス松尾新聞店

発行枚数:2600部

発行日:不定期 宅配されています信濃毎日新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞といっしょにお届けしております。ご意見ご感想お待ちしております!

## 『若一王子神社大祭 稚児行列・流鏝馬』

さて今回のミニコミ特集は、いよいよ夏本番、大町の夏の風物詩ともいえる『若一王子神社大祭』(前回のミニコミの特集にもなりました仁科三十三番札所めぐりの一番目にもあげられています。)です。

今年から29日のお祭りから、7月の第4日曜日(前夜祭土曜日)と日を改めて行われるようになりました。ですので今年は7月25日(土)前夜祭・7月26日(日)大祭となります。

前夜祭で行われる、『稚児行列』は昭和6年ごろから行われるようになったそうです、当時から揃いの稚児衣裳を着飾った百数十人の男児や女児が、父母のいずれかに伴われて大町駅前広場から本町通りを行進、若一王子神社に至り、子ども達の無病息災を祈願していたそうです。暑い中 駅前から王子神社まで歩くのは子どもにしてみれば大変ですよ、一緒に歩くお父さんお母さんはもっと大変かも、歩くに疲れた子どもをおんぶに抱っこ...。ご苦労さまです。。。



大祭で行われます、流鏝馬(やぶさめ)ですが皆さんはこの大町流鏝馬が、日本三大やぶさめの一つだというのはご存知でしたか?、しかも6歳から9歳までの子どもが騎乗するのは、この大町流鏝馬だけだそうです。(残る二つの流鏝馬は、京都の加茂神社、鎌倉の鶴ヶ岡八幡宮になります。)

若一王子神社の流鏝馬は、平安時代から戦国時代にかけてこの地を治めていた仁科氏によって、五穀豊穡の祈りとして続けられたものだそうです。(年占いや豊作占いなどの神事に武芸としての要素が加わり、この流鏝馬になったとも言われています)。

騎乗する射手についてですが、昔は数年間不幸(葬式)のなかった家の長男という制限があり、一家とも精進潔斎の上奉仕し、出場は一家一門の名誉と考え、近隣、親戚や縁者を招待して祝ったそうです。現在は少子高齢化にともない乗り手となる子どもが少なくなり厳しい制限はなくなっているそうです。

当日の射手は、りりしく化粧し狩衣を着け、陣羽織をまとい、太刀をさし、重藤の弓を持ち、籠(えびら)には矢を差し、三蓋笠(さんかいがさ)をかぶり、紋所を染めた白絹の鉢巻をするなど凛々しい射手姿を装います。そして当日は神が憑依された神の子どもとして足を地につけないよう最善の注意がはられます。(自分もこのお祭りを見に行ったときに射手を肩車して歩いている様子を見かけたことがあります、その時は”よっぽど馬に乗っているのは疲れるんだろうな”くらいにしか思っていませんでしたが、本来の意味を知ってて見ると知らないで見るとでは大違いだなとつくづく思いましたね!)



この後射手は、馬に跨り町内周り、駅前にて初めて矢を射る(途中もう一度矢を射る所有り)、町の中央で代官に扮した大町市長に巡行の報告(巡行改めの儀)の後、王子神社へ向かって巡行、さていよいよ本番です、王子神社の境内で流鏝馬神事が行われます。的を射らずに3回、矢を射って3回、最後に的の方を矢に付けて3回の合計9回を約1時間掛けて廻ります。境内にひびく「ハオー、ハオー」の掛け声、カッカッという馬蹄の音、馬上の射手によって射られた矢がパチンと的に命中する快音、これに呼応する観衆のどよめき...まことに勇壮な夏祭りのクライマックス。これがすむと、射手は神前で健康と息災を祈り、的板と神符を受けて、流鏝馬行事は終わりとなります。

お祭りには行くけど、最初から最後まで、祭りの神事を見たことがないという方がほとんどではないでしょうか?。自分もそのうちの一人ですけどね...。でも今年は、自分も子どもと稚児行列に参加しますので、この機会にじっくりとこの夏祭りを見てこようかと思っております。みなさんもどうですか?。



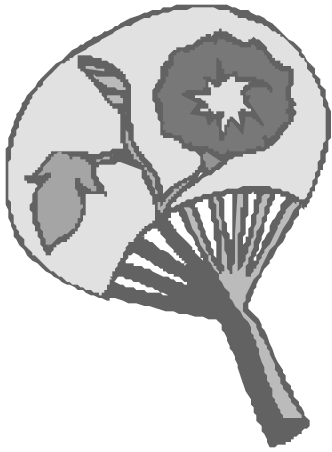
## 『省エネ家電 買い替えなび』

省エネ性能が年々高まる家電製品。例えばエアコンでは、13年前と比べると消費電力が約40%も減少した商品もあります。(冷暖房兼用・壁掛け型・冷房能力2.8キロワットクラス・省エネルギー型の代表機種の比較)。こうした省エネの度合いを調べるのに便利なのが、ウェブサイト「しんきゅうさん」。使用中のエアコン・冷蔵庫・照明器具・テレビについて、いま市販されている最新の製品との省エネ比較が簡単にできます。使用中の製品の購入年やメーカーなどの後に、購入予定の製品情報を入力すると、年間の消費電力量、電気



代、二酸化炭素(CO2)排出量などの違いがわかります。また、各社の最新モデルの省エネ性能を比較することもできます。携帯電話からも利用できますが、パソコン版では、製品を使用する地域や設置する環境、使用頻度などの詳しい情報を入力し、より細かな値を知ることができます。事前にしっかり比較し、省エネ性能の高い商品を選んで、家庭のCO2排出削減につなげましょう。

## 若一王子神社大祭 うちわ無料配布のお知らせ



大町デリバリーサービス松尾新聞店より日頃からの感謝の気持ちとして、王子大祭に合わせ<うちわ>の無料配布をさせていただきますことになりました。



日時は 7月25日、若一王子神社大祭の<稚児行列>の時刻に合わせて行います。

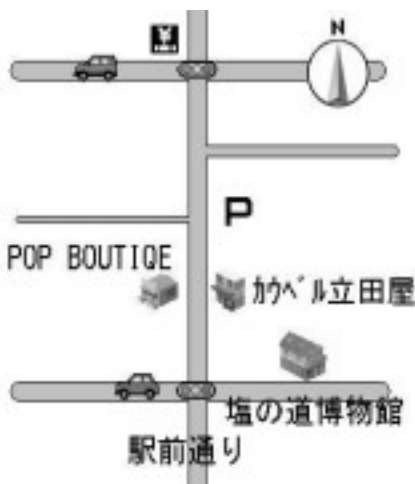
場所は 大町駅前通りの「POP BOUTIQUE」さん前。当日は お気軽に声をかけていただき、暑い中での神社までの参拝にお役立てください。また、せっかくのお子さんの晴れ姿、ご家族そろっての記念撮影のお手伝いもさせていただきます！当店スタッフに声をかけてください。カメラの撮影ボタンを押すくらいのお手伝いは出来ますので...(。・\_・)。

この<うちわの無料配布>は稚児行列参加のみなさんだけでなく、当日お祭りを見に来た方どなたでも配布させていただきますので、よろしくお願い致します。

\*当日 雨の場合は中止することあります。また、数に限りがございますので無くなり次第終了となります。\*

<王子の祭りには行かないという方々へ>

お祭りに行けない・行かないという方は当店までご連絡下されば、当店スタッフがうちわをお届けに伺いますので、お気軽にお電話をください。



## 新聞に載らない内緒話！

人たらし

横綱審議委員会によるけいこ総見が4月29日、東京・両国国技館で行われた。けいこを回避する方向だった横綱朝青龍は新小結の鶴竜や栃煌山らと8番の申し合いで全勝。けいこ後に、心臓病で長期療養していた天敵・内館牧子委員のもとへ歩み寄って「心配してました」と握手。これが奏功したのか、内館委員は辛口批判の代わりに、この日の朝青龍を「秀吉のような人たらし」と評した、と新聞にはある。確かに秀吉という人、人使いの旨さには定評があった。歴史の示すとおりである。

さて、この「人たらし」という言葉、司馬遼太郎さんの『新史太閤記』でみかけたような気がする。一方、記憶が薄らいでしまったが、文藝春秋社発行の雑誌の表紙にたしか、こんな紹介文があった。「司馬さんは、太閤秀吉の成功を「人たらし」の天才と描きました。

滴るような可愛げと笑顔  
気配りに満ちた贈り物と接待  
褒め上手

何よりも人間そのものが好き...

そんな人には誰もが魅せられます」。もっとも、その司馬さんもかなりの「人たらし」だった。そう言ったのは、司馬さんと親交のあった、作家の田辺聖子さん。

「人間というのはいつも、自分に興味をもってほしいと願っているもの。その願いは、蜜の味のように甘い。司馬さんは人間に対する興味をいつも持ち続け、そういうものを放出し続けた人。司馬さんにお会いする人に、ほてりと熱と愛を与えてくれる人」と回想した。

さて、その朝青龍が日本での永住者在留資格を取得したことを明らかにした。在留期間は無制限となり、在留資格の更新も不要になる。もっとも、これで日本でのビジネス本格化？ とひねった記事が目につく。まあ、これまでのご乱交への意趣返しとでも言おうか。10日から夏場所。土俵での活躍が何よりの「人たらし」になる。その強さで観客に「ほてりと熱と愛」を与えてくれれば幸いである。



## (有)大町デリバリーサービス松尾新聞店

大町市大町2675-7(ハローワーク大町すぐ近く！)

電話：フリーダイヤル 0120-030553

FAX 0261-22-8402

HPアドレス : <http://shimbun.web.fc2.com/>

